

9-1

hello,world

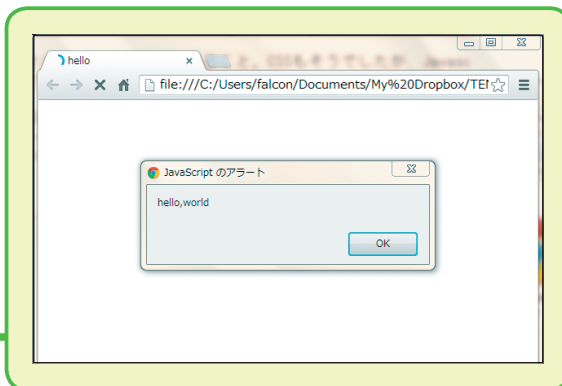
動きのあるウェブページをつくるためのJavaScript。その説明は前章でしたけれど、実感がわからない人も多いかもしれない。わかりやすいのはやはり、自分で書いてみることに！ JavaScriptで最初のプログラムを書こう！

● こんにちは世界

JavaScriptとはなにかを知るために、まずは書いてみましょう。

難しいことはありません。

```
<html>
  <head>
    <title>hello</title>
    <script>
      alert("hello,world");
    </script>
  </head>
  <body>
  </body>
</html>
```



ページを開くとアラート（警告）のウィンドウが表示されて、hello,worldという文字が表示されたはずです。

これがあなたの最初のJavaScript、そして最初のプログラムです。前章で

もうひとつ。前章まででCSSを学習したあなたにはわかりますね。このソース、bodyがなんにもないのです。したがって、アラートの【OK】をクリックすると、真っ白なページが表示されます。

● ページの表示

せっかくできるんですから、bodyの中身も書き入れましょう。こんな感じです。

```
<html>

  <head>

    <title>Hello!</title>

    <script>

      alert("hello, world"); .....アラートを出す

    </script>

  </head>

  <body style="text-align:center;"> ..... ページの内容をすべて中央にそろえる

    <h1>hello, world</h1>

  </body>

</html>
```

こんどはアラートでhello,worldを表示した後、【OK】クリックでページの内容が表示されます。【OK】をクリックしないと、ページの内容はなにも出ません。



●bodyの中にscript

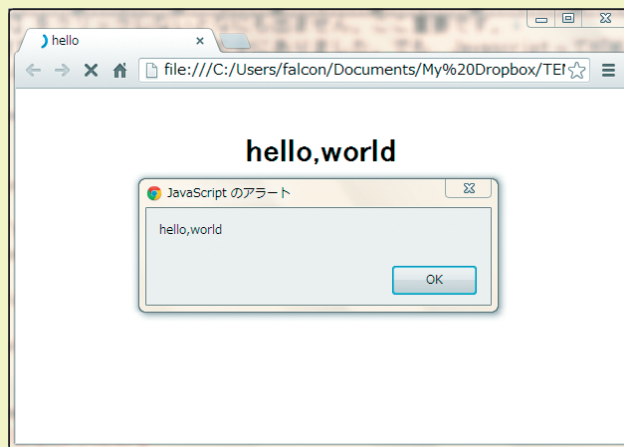
これまでの例ではscriptタグはheadの中にありました。でも、JavaScriptってHTMLソースのどこに書いてもいいんです。やってみましょう。

```
<html>
  <head>
    <title>hello</title>
  </head>
  <body style="text-align:center;">
    <h1>hello, world</h1>
    <script>
      alert("hello, world");
    </script>
    
  </body>
</html>
```

scriptタグがh1タグの下にある

表示してみると、ちがいはあることがわかります。そう、アラートとページの内容が同時に出ています！

ソースは、上から下に読み取られて実行されていきます。横書きの文章を読む順番と同じです。そのため、命令を書く位置を変更すれば、処理される順番が変わるのです。



ページとアラートがほぼ同時に表示される